

御霊による宣教 ～なんでやねん～

使徒の働き 2:1～21

①主の豊かな臨在と油注ぎ 聖なる吸引力

初代教会の時代には、聖書に書かれてあるような素晴らしい神の奇跡が沢山なされました。私達も教会の伝道に於いて多くの人に種を巻いて導く事ことを願ってきました。しかし、神様はあなたとは誰かに頭を下げて来てくださいます。願うのではなく相手から来たいと思える教会になりなさいと言われたのです。どのようにしたらなるのでしょうか？

それは「祈り」なのです。なぜなら、私の家は祈りの家と聖書に記されているからです。教会は祈りの家である事が重要で私たちは、イエス様が送ってくださった聖霊に満たされる事が大切なのです。聖書信じ聖書にあるように祈っていった時、教会はマルコの福音書16章に書かれてあるように、みことばを伴うしるしが伴う教会へと変えられていくのです。

【マルコ 16:20】

『そこで、彼らは出て行って、至る所で福音を宣べ伝えた。主は彼らとともに働き、みことばに伴うしるしをもって、みことばを確かなものとされた。』

【Ⅱ歴代誌 7:11-22】

『16 今、わたしは、とこしえまでもそこにわたしの名を置くためにこの宮を選んで聖別した。わたしの目とわたしの心は、いつもそこにある。』

②主と共に住む

私達一人ひとりも主の教会です。その私達が聖霊様と親しくお付き合いしていく為にはどうしたら良いのでしょうか。私たちの内側には主イエス様が住まわれています。それはイエス様を信じた時に内住してくださったのです。イエス様を信じた私たちの内側には既に聖霊様が住んでおられるのです。

イエス様が十字架に架けられ絶命したのち神殿の幕屋が真二つに割れました。それは神殿の時代が終わったことを象徴する出来事でした。しかしイエス・キリストは都であるエルサレムに留まっていなさいと言われたのです。そして、弟子たちの前に死から勝利し復活された姿で現れたのです。その後、弟子たちと過ごし、イエス様は再び天へ帰られました。

【使徒 1:8,9】

『しかし、聖霊があなたがたの上に臨まれるとき、あなたがたは力を受けます。そして、エルサレム、ユダヤとサマリアの全土、および地の果てにまで、わたしの証人となります。』 こう言ってから、イエスは彼らが見ている間に上げられ、雲に包まれて、見えなくなられた。』

【ヨハネ 14:16】

『わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためです。』

イエス様はこれらの御言葉にもあるように、ひとりの助け主、聖霊を与えてくださったのです。だから私たちは恐れるものがないのです。聖霊によるならば、私達は180度人生を変えられるのです。

③驚くべき福音宣教

驚くべき福音宣教は初代教会の時代から今もなお続いているのです。宣教は萎縮してはならない、衰えてはならないのです。

だからこそ聖霊に満たされ続けましょう。主は私達が近づくことを喜ばれるお方です。私達が聖霊に満たされ従って行くとき、人間の世界ではあり得ないような神の御業がなされます。もちろん奇跡が重要なわけではありません。聖霊を慕い求め、満たされる時、初代教会に起こっていたような御業が為されることをお伝えしたいのです。

【使徒 2:12】

『人々はみな、驚き惑って、互いに「いったいこれはどうしたことか。」と言った。』

神様が為される素晴らしい御業に期待しつつ、一人一人が聖霊に満たされるように祈って参りましょう！

(要約者: 泉水浩)

(2021年10月31日)